

企画名称	静岡市を「日本一働きやすく住みたいまち」に。
現状・背景	労働問題に苦しみながら働いている人は沢山いる
なぜ、必要なのか？	静岡市の若者が労働問題で困っている人が沢山いる
市民ニーズはあるか？	ある。若者は大人よりも若者の方が労働相談の悩みも打ち明けやすい。
目的	静岡市を「日本一働くやすく住みたいまち」にするため
ターゲットは？	相談窓口・交流会ともに全年齢
ターゲットはどんな欲求を持っているか？	労働についての悩みや相談をまず聞いてほしい
手法	①相談窓口②交流会
競合は？市の役割は？	市の役割：①助成金（交流会の会場費・交流会による勉強会の講師謝金）②後援的立ち位置
どの程度実施するか？	労働相談窓口はSNS等を使うため、可能な限り対応。交流会は月1回実施
経費は？	30千円
成果指標	相談窓口対応件数、交流会実施回数、交流会参加者数、
どのようにして計るか？	アンケート、実施回数は集計
目標は？	相談窓口対応件数：10件 交流会実施回数：月1回（年12回）